



明海大学 浦安キャンパス 同窓会 報

第13号
2007.12
December

各団体の主な成績

サッカー部

平成19年度千葉県大学サッカー
春季1部リーグ優勝
(5勝2分け)
平成19年度千葉県大学サッカー
秋季1部リーグ優勝 (5勝1分け)
千葉県代表として関東大学サッカー大会出場 (1回戦敗退)



ヨット部

平成19年度春季関東学生ヨット選手権
大会 (470級) 7位
平成19年度秋季関東学生ヨット選手権
大会 (470級) 10位
平成19年度千葉県大学ヨット選手権大会 (470級) 2位
平成19年度全日本470級ヨット選手権大会 個人60位・63位
(北京五輪一次選考会)



空手道部

第43回東日本大学空手道選手権大会
男子団体組手 ベスト16
女子団体組手 ベスト16
第50回関東大学空手道選手権大会
男子団体組手 1回戦敗退
(全日本大学空手道選手権大会出場決定トーナメント 勝利)
女子団体組手 ベスト16
第51回全日本大学空手道選手権大会出場予定



今後の躍進に期待!

『明海大学体育会』をバックアップ
サッカー、ヨット、空手道の3団体

クラブ活動を通じて在学生の帰属意識
をより高めるとともに、大学の一層の活
発化を図ることを目的に、2006年7
月に『明海大学体育会』が発足。そこで
同窓会では、在学生への協力・援助事業
の一環として新たに『体育会への援助』
を行っていくことが代議委員会で承認さ
れた。

既存の運動部から、『練習場所が確保
されている』、『継続的な選手確保の見通
しがある』、『指導体制が確立されている』、

そして『結果が見込まれる』などの点を
考慮し、サッカー部、ヨット部、空手道
部の3団体が、体育会の所属クラブとし
て選ばれた。

大学では、強化に向けて奨学金制度を
新設するなど、優秀選手の確保、高校生
を招待してのスポーツ行事の開催や優れ
た指導者を招聘しての啓蒙活動、練習施
設の充実や修学指導体制の整備等を図っ
ていく。

「2ndステージ」

での心掛け

同窓会会長 北原 淳



昨年、本会
は15周年、不
動産学科支部
「緑風会」は10
周年を迎えま
した。さらに

英米語学科支部「明英」と中国語学科支
部が新たに設立されて本格始動。現在、
日本語学科と経済学科も支部設立に向
けた準備に入っており、本会はまさに
2ndステージに突入といった感じです。
そして、早くも来年度初の卒業生を
輩出するホスピタリティ・ツーリズム
学科が支部設立に備えて動き出してい
ます。また、各地区での連絡会も継続
して開催しており、さまざまな形で同
窓生のコミュニティがどんどんと産ま
れています。
「会員数約2万人」とたいへん大きな
組織となってきた本会にとって、こう
したコミュニティの存在はとても重要
な意味を持ちますので、今後も綿密に
連携を取り合っていこうと考えており
ます。
同時に会員の皆様の率直なご意見を
取り入れた活動を行っていきたくとも
考えております。適宜アンケートの実
施もしておりますが、ホームページな
どを利用し、会に対するご意見・ご要
望などをお寄せください。私たちは「開
かれた大学」―明海大学の同窓生です
から、いつも「開かれた同窓会」を心
掛けています。



# 浦安キャンパス同窓会パーティー

## 出席者は過去最高!

### 「懐かしい顔に会えました」



▲武藤副会長

#### 同窓生からのメッセージ

「機会を設けてもらわないとなかなか会えない人たちもいるので、この会はとても素晴らしいと思います」  
(経済・14期)

「卒業をしてしまうと、なかなか大学に行く機会や、大学との関わりがなくなってしまいがちですが、パーティーの連絡をもらうと、今年もこんな時期かと懐かしい大学の日々を思い出します。このような形で大学と繋がっているのはすごく嬉しいことです」  
(英米語・14期)

「毎年、学園祭期間中に同窓会パーティーがあるので、パーティーが終わった後に学園祭を見ていくのを楽しみにしています。これからは是非この時期に開催していただけると嬉しいなと思います」  
(日本語・9期)

「昨年から出席するようになったのですが、懐かしくてやはり母校はいいものだと思います。これからも可能な限り出席したいと考えております」  
(不動産・10期)  
(参加可否のハガキより)

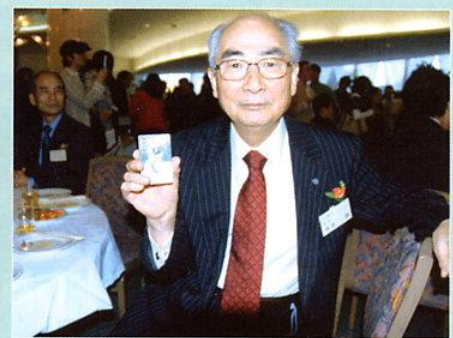
2007年11月3日、第16回明海大学浦安キャンパス同窓会パーティーが、学内のレストランニューマリンドで開催された。会場には300人を超える各学部の卒業生のほか、来賓の先生方、大学職員、教育後援会の役員など大勢が集まり、懐かしい人たちとの再会に大いに盛り上がっていた。

まず、武藤俊一副会長が「今年も同窓会パーティーを開催することができました。懐かしい旧友や先生方と交流を深め、楽しいひとときを過ごしてください」と開会を宣言した後、平松健太郎副会長が1992年に発足し会員1万9千人を有する同窓会の歩みと、実施事業について説明した。

そして、来賓を代表して高倉翔学長が「大学も評価の対象となる時代で、卒業生がどんな活躍をしているかが大きなポイントとなると確信している。その意味からも、卒業生の日々の活躍に感謝しているし、大学もそれにこたえるべく努力



「SWISHテニスサークルです。みんなに会うのが楽しみ、近くに住んでいるので、毎年参加しています」



▲高倉学長

「私にテレカを送ってくれた『あなた』に再会できることを楽しみにしています。明海大学の教授になることを決意させてくれた日本語学科1期生の学生です」



「サークルの仲間で、昨年も来ました。久々にみんなに会えて楽しいです」



「情報処理研究会の仲間です。学園祭のついでに参加しました。料理がおいしかったです」



「英米語学科の同級生です。同窓会の会報に同級生の写真が載っていたので会えるかなと思って参加しました」



# 第16回明海大学



している」と力強くスピーチ。続いて浦安キャンパス教育後援会の谷昭夫会長も「とても大勢の卒業生が集まりました。今日は楽しい思い出を作ってくたいてください」とあいさつをした。ここで、かけつけてくれた先生方の紹介へ。懐かしい名前が読み上げられるたびに会場から大きな拍手と歓声がわきあがっていた。そして、朝日讓治副学長の乾杯の発声でパーティーがスタートした。

この日は300人を大きく超える過去最高の出席者があり、会場は立錐の余地もないほど熱気いっぱい。おい



## 抽選に当たりました!

「(ワインが)当たってとても嬉しいです。来年も参加させていただきます」(中国語・11期)  
 「欲しかったもの(iPod)なので嬉しいです。出産したばかりで、ただいま2ヶ月の赤ちゃんを抱えて奮闘中の新米ママな私。ご褒美をもらったようで喜びも倍増! ますます育児も頑張らなくちゃ!!」(経済・5期)

iPod当たりました!

「QUOカードを送っていただき、ありがとうございました! 子どもたちが「これどうしたの?」と聞くので明海大学の話をしました。とても興味をもったようで、「ママの学校に行ってみよう!」と言っています。次の里帰りの際には、2人の子どもたちに大学見学とニューマリンスの美味しいランチをプレゼントしたいと思っています」(経済・3期)

(賞品当選者からのコメント)

しい料理を食べながら同級生やサークル仲間、先生を囲んでいくつもの輪ができて、和気あいあいとした談笑が続いていた。途中、アンケートに答えた人にiPodなどの賞品があたる抽選会が行われ、大きな盛り上がりを見せていた。

パーティーを楽しんだ朝日副学長は「参加者に(同窓生が連れてきた)小さなお子さんが目立つようになりましてね。子どもも明海大学で学ばせたいと思ってもらえるよう、大学も進化していかなければいけないと感じました」と話していた。また、武藤副会長は「昨年15周年のパーティーを盛大に行ったので、今年は参加者が少ないのではないかと心配していましたが、予想以上にたくさんのお窓生が集まり、主催者としてはとてもうれし」と感想を述べていた。

「1期生です。同窓会パーティーに初めて参加しました。浦安と大学の発展かりにびっくり!」



テニスサークルの仲間です。10年振りに会いました



「昨年初参加で、ピンゴ大会で賞品が当たったので、今年も参加しました。今年はまだ当たっていません」

## 出席された先生方

- 学長 高倉 翔先生  
 副学長 朝日讓治先生  
 ◆外国語学部 櫻井 隆先生  
 田中典子先生  
 史 有為先生  
 中川 仁先生  
 山下暁美先生  
 松井順子先生  
 鶴島俊一郎先生  
 魏 鐘祺先生  
 西川寛之先生  
 ◆経済学部 下田直樹先生  
 塩田長英先生  
 宮崎 毅先生  
 伊藤伸介先生  
 宮崎礼二先生  
 ◆不動産学部 小泉允園先生  
 林 垂夫先生  
 石塚義高先生  
 杉山克美先生  
 斉藤千尋先生  
 ◆H・T学部 草野 健先生  
 宮田 淳先生  
 北村靖道先生  
 市川重雄先生  
 中井延美先生



「サークルの仲間です。静岡から参加しました。1年に1回だし参加費は無料だから、少々遠くても参加できます。今日は懐かしい先生に会えて感激。とてもいい雰囲気でした」



結婚の報告に来ました



## 同窓生 からのたより



私は現在、明海大学浦安キャンパス事務部学事課（留学支援）にて日々、海外留学を目指す学生さんへのアドバイスを指導にあたっております。

1998年に英米語学科に入学し、2000年には念願だったニューヨークへの長期留学を経験しました。この留学では、語学、異文化体験、自立心、自己責任感や環境への適応性などその後の自分を形成するために重要な大きなものを得たのだと、当時を振り返ると強く感じています。卒業後はプラスチック関係の企業に就職しましたが、もっと人と人との繋がりを感じる仕事に就きたいという思いがあり、退職を決心しました。その後の1年間で自分のために使う猶予期

## 母校で留学の支援をしています！

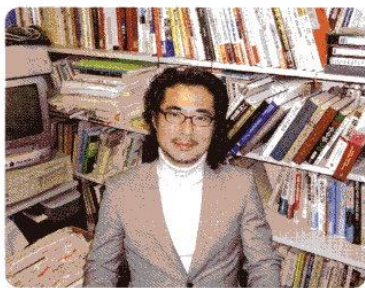
金子直人（2002年・英米語学科卒）

間と決めて、翻訳の勉強やフロリダでホームステイ体験をしました。この頃から大学職員を意識していましたが、幸運にも自分の母校で仕事をするチャンスを得て、現在に至っております。

明海大学では現在、長期留学・短期海外研修併せて、年間約250人もの学生さんが海外協定校での留学を経験しています。留学をして良かった！ 苦しいこともあったけれど乗り越えた！ という声を聞いたり、留学を終えた学生さんの話す表情に渡航前との違いが見えるたびに嬉しくなります。留学を目指す学生さんには自立心と自発性、そして日本人であるという気持ちを強く持って臨んでほしいと願いながら接しています。そうすれば、留学中の辛い事もきっと乗り越えられると思うからです。

中学・高校在学中に海外旅行や短期海外留学を経験してくる学生さんが増えている現代、これからは語学留学プログラムや新しい留学が求められる時代になってくるのかもしれないですね。今後は新プログラムの構築など、新しい取り組みにも携わることができればと思います。

## 恩師 からのたより



寄稿するにあたって、私のゼミ（経済学演習）出身の卒業生が一体何人くらいいるのだろうかかとふと思ひ、数えてみたところ210人もいることに気づきました。

伊豆での合宿で、みんなで夢中になってボディー・サーフィンに興じたこと。有志で行ったグアム旅行では、毎朝6時起きで島巡りをする道中、戦争と平和について語り合ったこと。ゼミ対抗ソフトボール大会で悪ふざけしすぎて、下田先生に叱られたこと。ゼミ飲み後に私の子供のためにみんながUFOキャッチャーで取ってくれた黄金オニクワガタの大きなぬいぐるみ。明海祭で、みんなで試行錯誤して作って大好評だったクレープ。などなど、思い出は尽きることがありません。もっとも、思い浮かぶのは教室外での思い出ばかりになってしまいま

## 育て、大きな「木」

宮崎礼二（経済学部准教授）

すが。しかしそれもゼミならではのことでしよう。ゼミ担当教員として、学生諸君にもゼミ活動が大学生活の良い思い出の一つになってくれたらと思います。ゼミ生と接してきました。

ゼミ担当教員として、卒業生からメールをもらった時、飲み会の誘いを受けたりした時の嬉しさはとても大きいものです。仕事での苦労話や近況報告の中に、彼ら、彼女たちが日々さまざまな職場で頑張っている姿が目に見え、頼もしい限りです。在学中には当たり前であった甘えた学生の姿から、一人前の社会人へと成長を遂げつつある姿を見ることは、教師冥利の一言に尽きます。ゼミ生たちが卒業後に成長する姿を見て、社会という「環境」において、一人ひとりが自分という「木」を育てているのだなとつくづく思うのです。改めて、ゼミとは何であるのかと考えると、卒業後に一人ひとりが育てていく「木」の「種」を植える場がゼミなのではないだろうか、と。そして、卒業と同時にみなさんの「種」が発芽し始めたのです。今、その「芽」に水をやり肥料を与え続けるのは、みなさんです。大きな大きな「木」を育てて、見せに来てください。楽しみにしています。



## 各支部からのレポート

### 日本語学科同窓会支部

#### 設立に向けて

日本語学科同窓会支部準備会発起人一同

近年、学科ごとと同窓会支部が設立され、活発に活動しています。このことに伴い、私たち「明海大学日本語学科卒業生」も、母校の隆盛を図り、学術の振興、国際交流、その他社会の発展に寄与することを目的として、日本語学科同窓会支部の設立に向けて準備をしています。

第一弾の活動として、2007年7月28日（土）浦安キャンパスにおいて卒業生による情報交換会を開催しました。この情報交換会には日本語学科卒業生、教職員ら約30人が集まり、近況報告や在学中の思い出などが語られ、有意義なものとなりました。今後は準備委員会を中心として、ホームページを開設し、日本語学科同窓会支部設立に向けて卒業生のネットワークの拡充を図ります。また、在校生組織「明海大学日本語学会」への支援も行い、在学生と卒業生の交流の機会を設けたいと考えています。

まだまだ、歩み始めたばかりですが、「明海大学日本語学科卒業生」の活動を通じ、明海大学の発展のために学歌にもある「私達にできる何か」を行動にしていきたいと思えますので、ご協力をお願いいたします。

### 明英2年目、そして今後へ

英米語学科支部「明英」志村典英

明英が産声を上げてから約1年が過ぎようとしていた2007年8月4日（土）、午後6時よりオリエンタルホテル・東京ベイ1階ローズにて「2007年度明英親睦パーティー」を開催しました。昨年同様、50名を上回る大勢の皆さまにお集まりいただき、限られた時間ではありましたが懐かしい級友やお世話になった恩師との近況報告や情報交換など、それぞれが楽しいひと時を過ごすことができました。

2007年11月10日（土）には「効果的な授業作りを目指して」というテーマで「2007年度 明英英語教育セミナー」を実施し、浅羽亮一先生（明海大学名誉教授）よりの確なアドバイスが込められたご講演や、卒業生の滝口圭太さんによる公立教員採用試験合格の秘訣、私、志村による海外語学研修の報告をもとに活発な意見交換を行いました。20名を越す参加者からは大変好評をいただきました。



とても爽やかなクリスマスセミナーになりました。は温かいメッセージやデザインとともに英米語学科卒業生の皆さまへクリスマスカードをお届けしました。今年度末には

1年間の活動報告を中心としたニュースレターの配信を予定しています。多くの方々に支えられながら2年間を過ごしてきた明英ですが、今後も引き続き、皆さまのご協力をよろしく願っています。

### 緑風会の事業報告

不動産学科支部「緑風会」本間勝

不動産学部支部の緑風会は、現在、  
①不動産関係業種就職者の交流活動  
②卒業後の国家資格取得支援活動  
の2点について、特に注力して活動しております。



①については、「不動産緑風会」という部会組織があり、会員交流や情報交換活動を行っております。明海大学卒業生であり不動産関係業種に就職されている方であれば、学部を問わず入会できます。②については、不動産関連国家資格を卒業後取得したときのお祝い金制度があります。申請による受付ですので、覚えておくの良いと思います。また、「緑風塾」という部会があり、資格試験対策の拠点となっております。現在は、宅建試験対策講座を通信教育で行っており、全国どこに住しても格安でサービスが受けられます。仕事をしながらの試験勉強は大変ですが、緑風塾が良きベ이스メーカーになってくれます。既にこの講座を受講して見事合格を果たされた方も出ております。

今後も「不動産」をキーワードに、支部としての活発な活動を展開してまいりますと考えております。

### 中国語学科支部報告

中国語学科支部 川島修一

多くの方のご指導、ご協力をいただき、昨年支部を何とかスタートさせることができました。本来ならお一人ずつお礼を申し上げたいのですが（それでこの文を埋めるのも一手ですが）、ここで皆様にご礼申し上げます。

去年は80名近い卒業生に設立パーティーへお越しいただきました。卒業生の1割に届きそうな数字です。中国語学科卒業生の結束の強さを感じることができました。今年には旧正月の時期に近い2008年2月2日に2回目のパーティーを開催いたします。中国語圏で働く同窓生がいたらぜひ、帰国するようお願いしてください（笑）。今後はこの結束力をネットワーク力へ発展させ、卒業生同士がお互いに利益関係となれるようなサービスを提供したいと考えています。

2007年は中国語の継続的な学習支援としてHSK受験者への一部補助が始まりました。まもなく補助申請の手続きを案内するハガキが届きますので、受験者は必ず補助申請をお願いいたします。この支援によって卒業生のスキルアップや子育て後の再就職の一つの助けになればと思います。役員が全員多忙なため、何かと情報発信遅れがちになっておりますが、卒業生が満足できるよう一丸となって頑張りま



Nov. 2-4, 2007

## 「きらり◇」 光るもの見つけた？

### 第20回 明海祭

は吹奏楽部や軽音楽部などが日頃の練習の成果を披露。その周辺には、焼きそば、

2007年11月2日(金)から4日(日)の3日間、浦安キャンパスで第20回明海祭が開催された。主催は学友会学園祭実行委員会(浅子一也委員長)で、今年のテーマは「きらり◇」。



Sep. 4-6, 2007

## 未来の明海大について 語ろう！

### 2007年度サマーキャンプ

たこ焼き、ホットドックなどたくさんのお店が出店し、学生や近隣の住民らでにぎわった。また、近隣の住民も出店するフリーマーケット、

DT学部の内苑孝美教授の講演会、ルー



2007年9月4日(火)〜6日(木)、栃木県日光市にあるホテルニュー岡部で2007年度明海大学浦安キャンパス友会サマーキャンプが行われ、学生173人と教職員等75人(うち同窓会役員2人を含む)が参加した。

今年メイン

May. 19, 2007

## 地区連、支部支援の 強化を確認

### 2007年度 同窓会代議員会

「課外活動の在り方と今後について」「留学生、日本人学生及び教職員の交流について」「学内外におけるマナー向上について」の4つをテーマに、活発な意見交換を行った。

2007年5月19日(土)、浦安キャンパスにて2007年度同窓会代議員会が開催された。同窓会代議員、高倉学長をはじめ大学教職員も出席。はじめに伊藤学事課長から大学の近況報告があり、2006年度事業報告と決算報告が行われ、全会一致で承認された。また、2007年度役員と代議員が選出され会長に北原淳氏が再任、2007年度事業計画と予算案も全会一致で承認された。主体事業の中でも各地区連絡会の充実、同窓会支部の支援強化を確認。同窓会創設について「課外活動の在り方と今後について」「留学生、日本人学生及び教職員の交流について」「学内外におけるマナー向上について」の4つをテーマに、活発な意見交換を行った。「このキャンプは、学生から学校側への意見を伝えたり、またその逆があったりと、大学・学生の双方に有益になるのが目的。よりよい大学づくりについて考えるきっかけになっていると思います。これを機に、学友会の存在や委員会の活動についてもぜひ知ってほしいですね」と原野公輔学友会会長。中禅寺湖や東照宮などの観光や懇親会など、いつもの学生生活とは一味違った体験を、参加者全員が満喫していた。



立15周年を迎え、より充実した活動を展開する。また在学生への協力・援助事業として新たに「体育会への援助」が加わり大学活性化への一役を担うかたちとなった。



## 2006年度明海大学浦安キャンパス同窓会会計報告

セキュリティの関係上、インターネットには公開いたしません。

同窓会会員でご覧になりたい方は、直接事務局までお問合せ下さい。



## INFORMATION

同窓会ホームページより

携帯電話やパソコンから  
会員情報変更依頼が

可能です！

皆さんご存じでしょうか？ 同窓会のホームページから住所や改姓の届けも行えるようになり、各種変更届けが簡単に行えるようになりました。

20周年記念パーティーを  
お楽しみに！  
— オリジナルワインを醸造中 —

担当理事 本間 勝



本会は、設立15周年記念事業として、オリジナルワインを製作しております。15周年である2006年に収穫された山梨県甲州市勝沼産の甲州種ぶどうから醸造された白ワインは、すでに完成を迎え、ボトリングを待つばかりとなりました。

現在、オリジナルラベル製作が進められ、3月にはボトリングも終了します。その後は、甲州市内のトンネルワインカーヴに貯蔵され、20周年の日を待ちます。20周年記念パーティーにおいて披露される予定ですので、その時間の経過と自然の恵みを味わっていただければと思っております。



- II 協力・援助事業
- ① 明海大学体育会への援助(新規事業)
  - ② フレッシュユマン研修会への援助
  - ③ 学友会サマーキャンプへの協力、援助
  - ④ スノーキャンプへの協力、援助
  - ⑤ 大学ボランティア活動への援助
  - ⑥ 卒業パーティーへの協力、援助
  - ⑦ その他

## 2007年度

明海大学浦安キャンパス  
同窓会事業計画

## I 同窓会主体事業

- ① 同窓会会報の発行
- ② 同窓会データベースの整備
- ③ 就職支援セミナーの開催
- ④ 同窓会パーティー開催
- ⑤ 各地区連絡会の開催
- ⑥ 同窓会ホームページの充実
- ⑦ 同窓会支部の支援
- ⑧ 卒業記念アルバム贈呈
- ⑨ 慶弔に関すること
- ⑩ その他

## ■事務局から

今年も同窓会パーティーへたくさんの同窓生の方へ出席していただき、ありがとうございました。

例年に無いほど出席者が多く、皆様方には何かとご不便をお掛けしたことをこの場をお借りしてお詫びいたします。申し訳ありませんでした。

来年度以降は、皆様からいただいたご意見を参考に、より良い同窓会パーティーが開催できるよう努力してまいります。

## ■住所変更はお忘れなく！

一人暮らしをしていて、お引っ越しをした際に同窓会事務局への住所変更を忘れ、「住所不明」になってしまった同窓生の方が多くいらっしゃいます。その際、ご実家宛に「会報」等を送付させていただいております。もし、ご実家に届きましたら、ご本人に住所変更をするようお伝えください。

## 編集後記

同窓会報編集の季節が来ると、なんだか1年の終わりを感ずるようになり、迫りくる締切と戦いながら1年を振り返っています。

各学科の支部活動も活発になり、そのことで同窓生が大学へ関心を持つてくれることが増えてきたことはとても嬉しい限りです。同窓会パーティーでは1期生の参加はもとより、最近卒業された同窓生の顔も増えてきています。同窓会事業に携わって4年目になりますがこの1年間は成果を肌で感じる事ができました。

一方で、各地区連絡会では同窓生の参加人数が年々、減少傾向にあります。同窓会本会としてもより一層の努力が必要と感じており、各地区の同窓生に大学の近況報告や大学時代の思い出話など、語り合える場を提供すべく企画の充実、告知の徹底を図っていきたくと考えています。

会長あいさつにもありますが同窓会本会も2ndステージを迎えました。「開かれた同窓会」の為にもこの会報で情報を発信し続けていきたいと思っております。

最後に体育会が発足して約1年半。所属クラブの成果も着実にではじめてきています。数年後には全日本大学選手権優勝なんてクラブも夢ではありません。優勝の場に応援する者の1人として立会い、勝利の美酒に酔ってみたいものです……個人的には必ずその日が来ると信じています。

編集長 熊沢基之